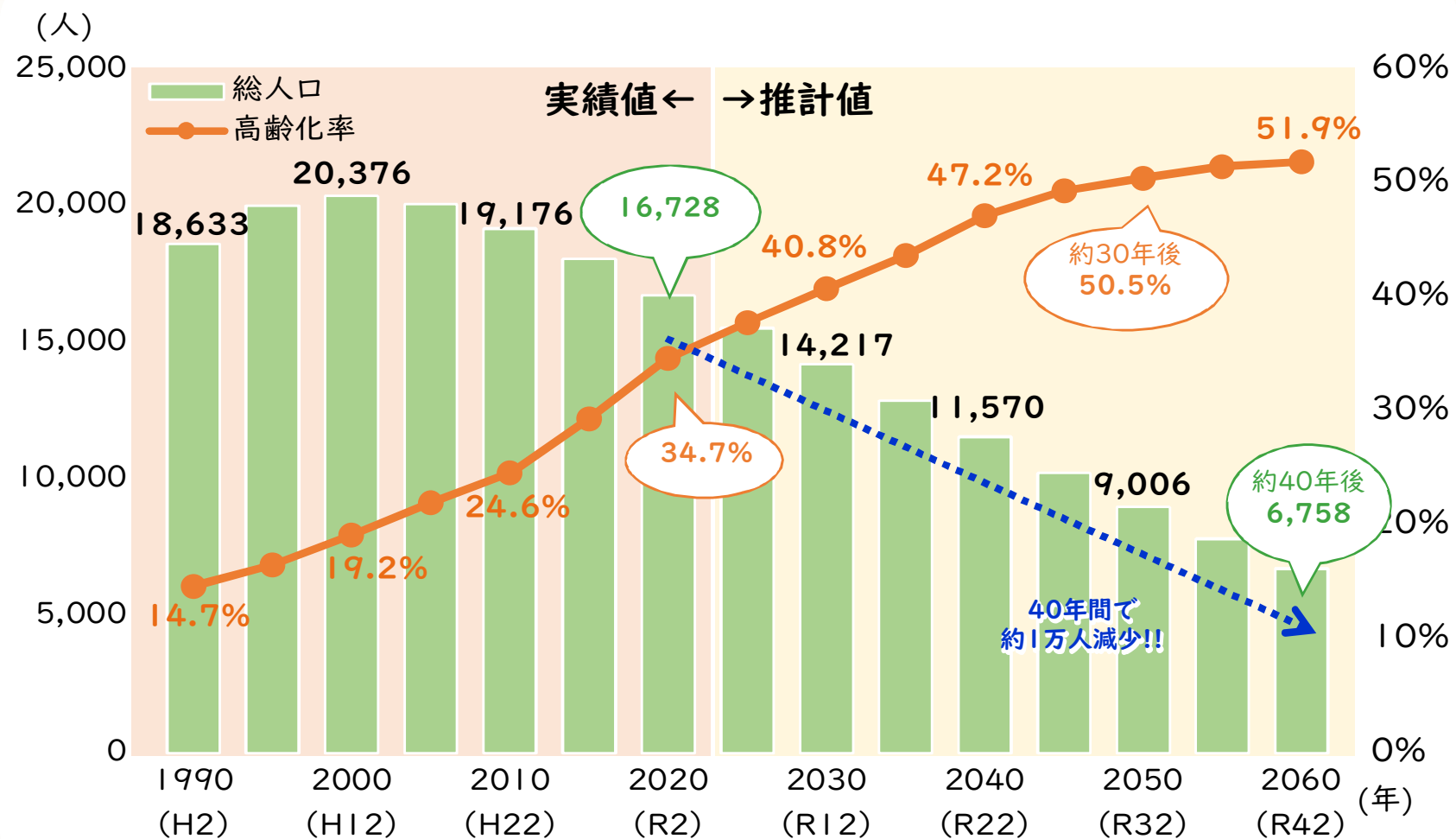




# 大淀町町政報告会

令和8年4月

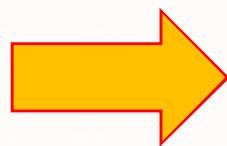
# 大淀町の人口推移



出典：2020年まで国勢調査（総務省）、2025年～2060年は  
国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠した推計人口



- ・人口減少
- ・少子高齢化

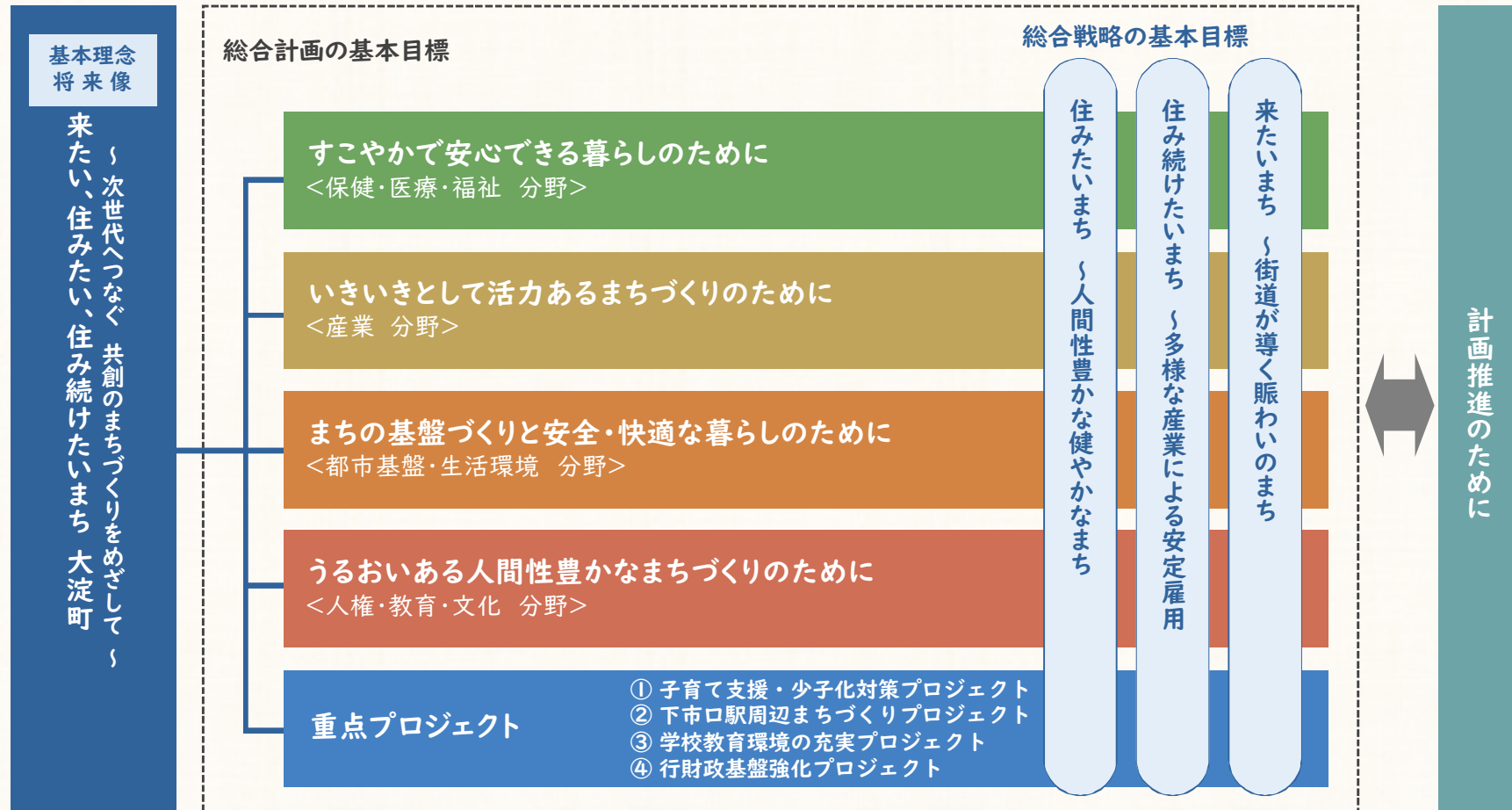


若者世代・子育て世代が  
将来に希望を持てるまちづくり

# 第4次大淀町総合計画後期基本計画 第2期大淀町地方創生総合戦略

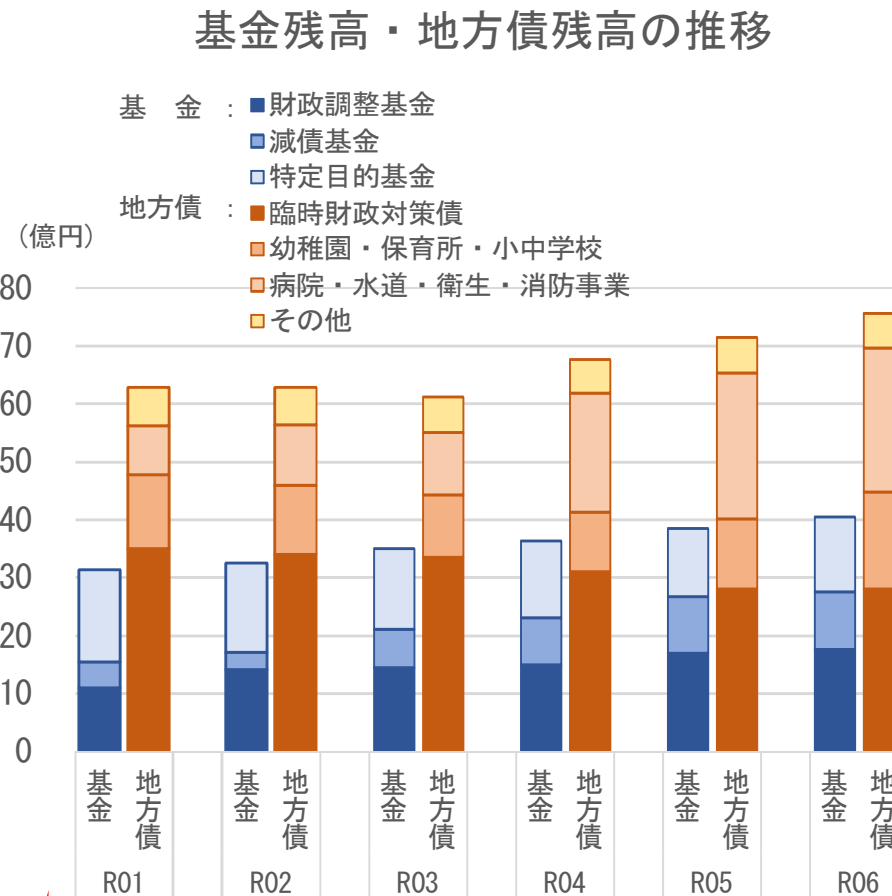
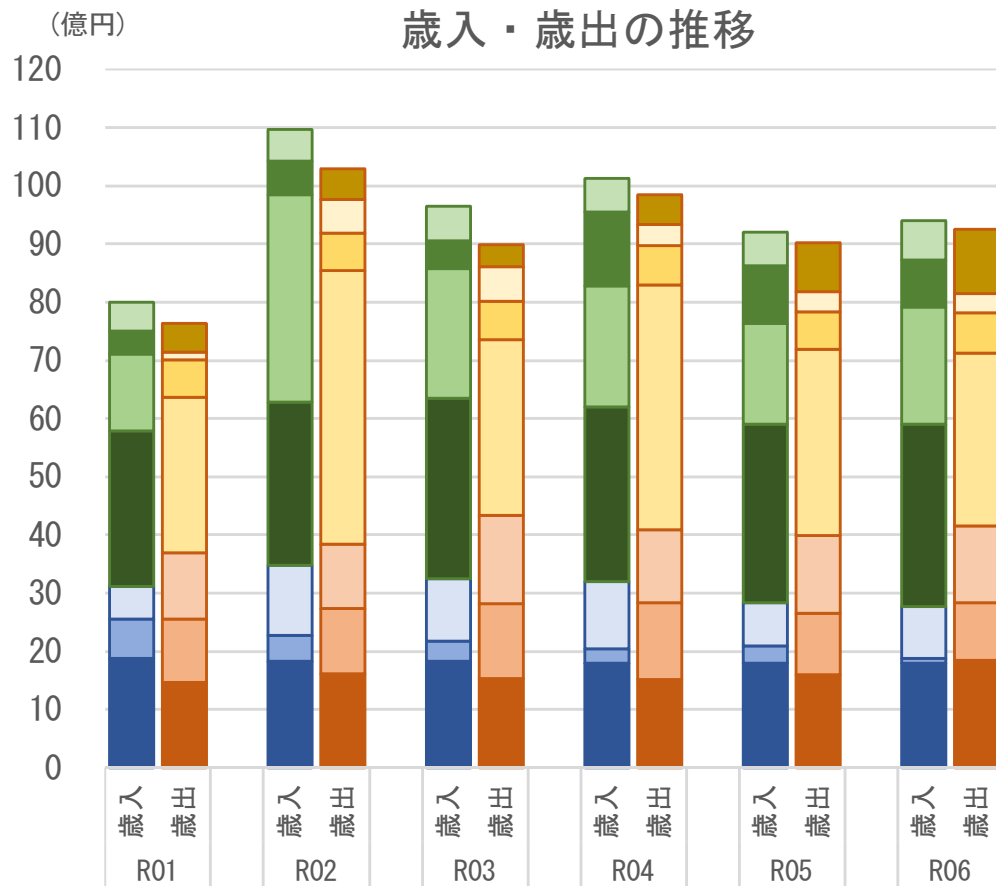
計画期間：令和4年度～8年度

## 施策体系



# 大淀町の財政状況

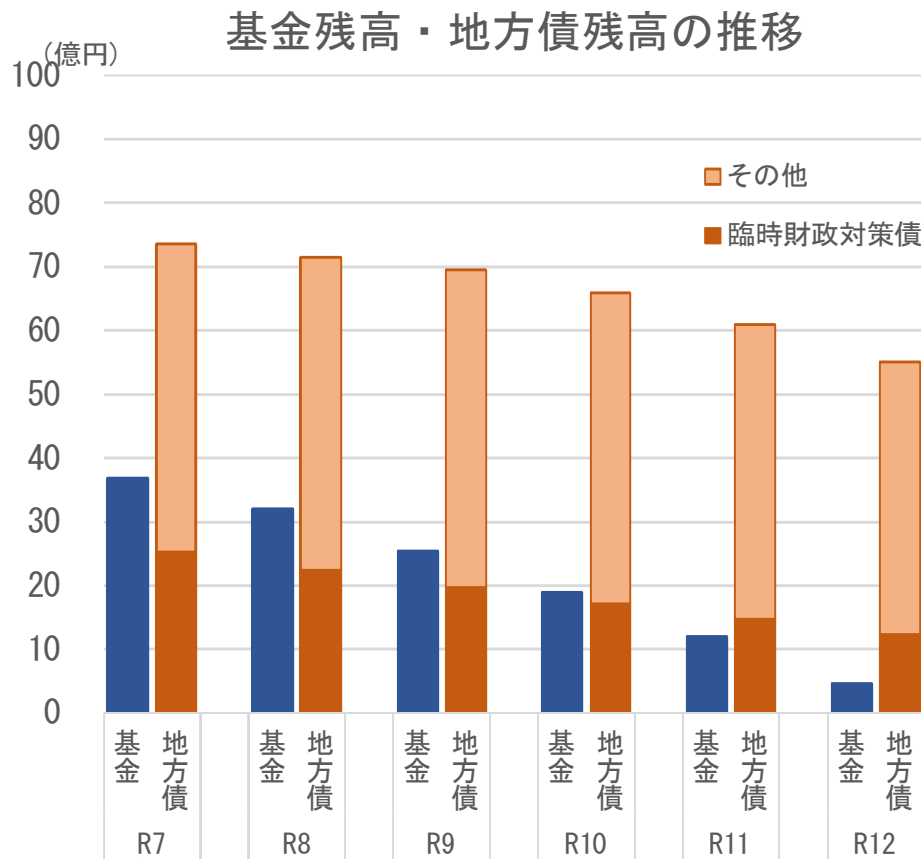
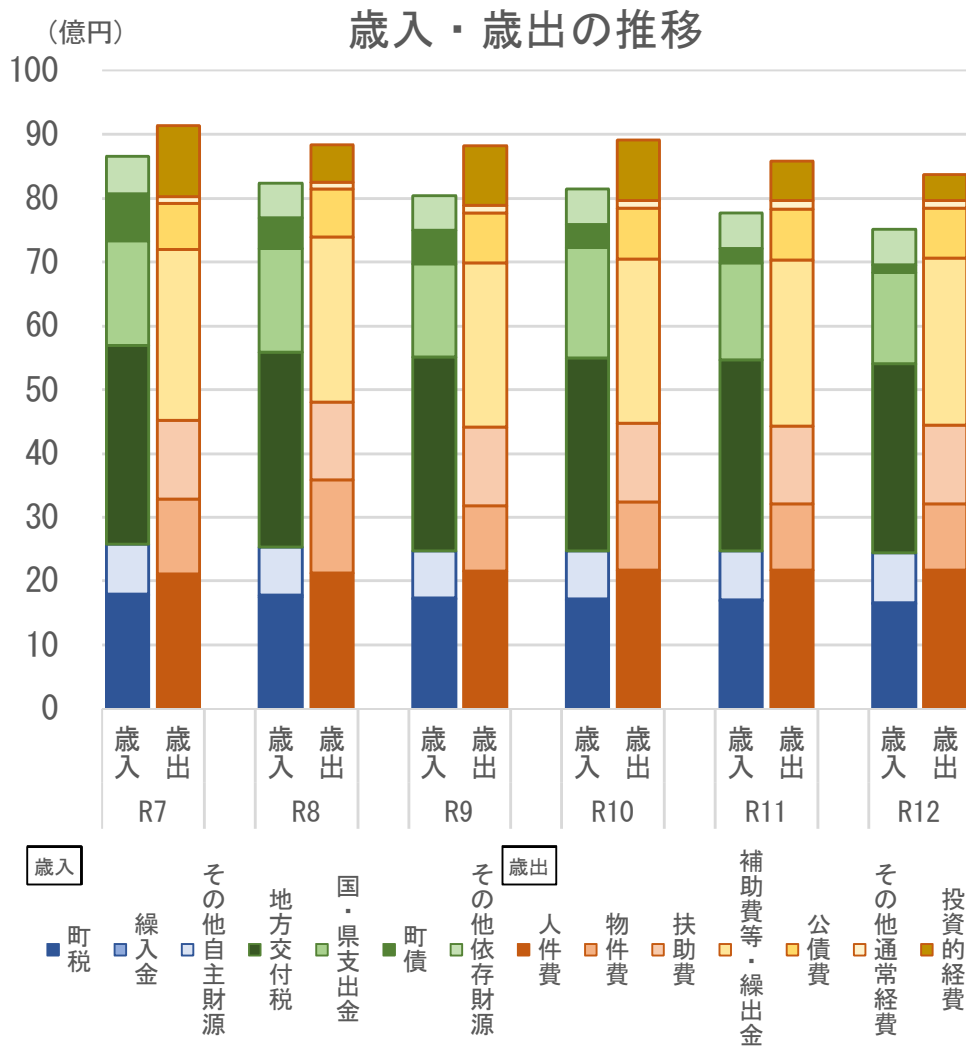
令和元年度～令和6年度



- ・令和2年度から財政規模が膨らむ。
- ・基金残高は少しずつ増えている。
- ・地方債残高も増加傾向にある。

# 大淀町の財政見通し

令和7年度～令和12年度



- ・年間約4～8億円の収支不足が続く。
- ・それに伴い基金残高は年々減少していく。
- ・地方債残高は減少傾向。

# 令和8年度事業概要について

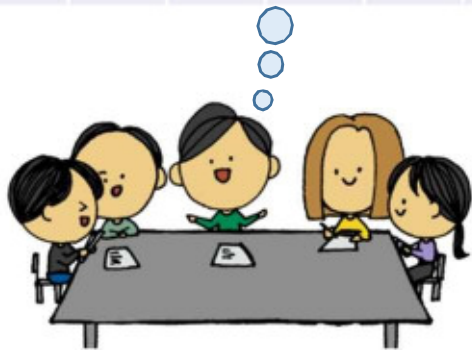
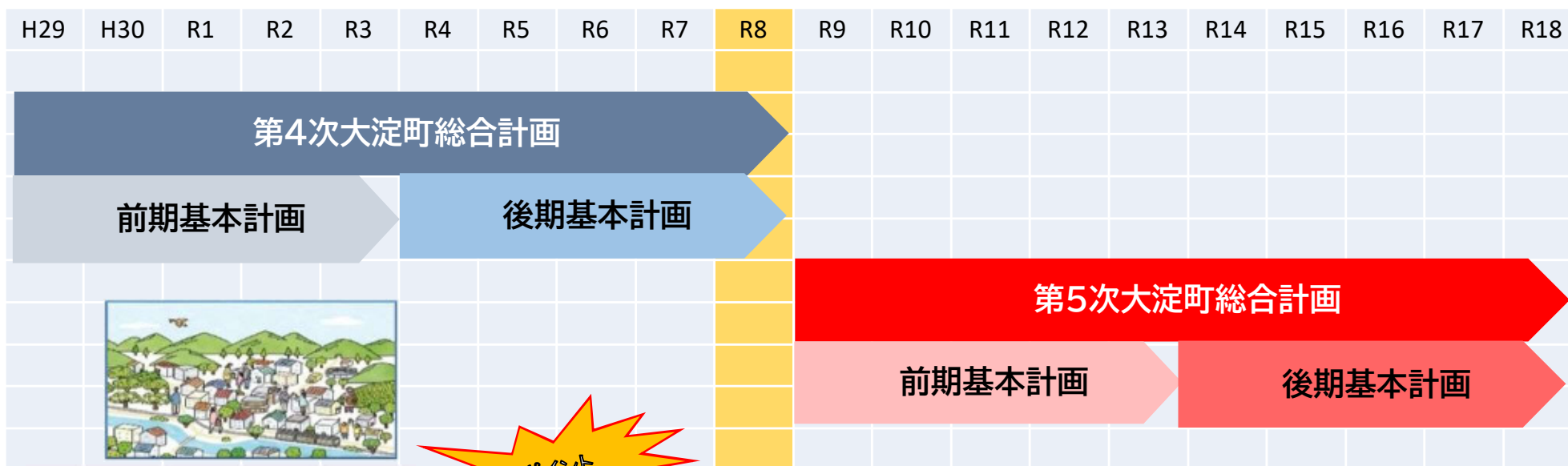


計画推進のために  
＜計画的・効率的な行財政運営のまちづくり＞

# 大淀町総合計画策定事業

R8:7,371千円 [R7:9,131千円]

現行の第4次大淀町総合計画の計画期間が令和8年度末までのため、次の計画である第5次大淀町総合計画を策定します。



新たな潮流に柔軟かつ  
的確に対応した計画

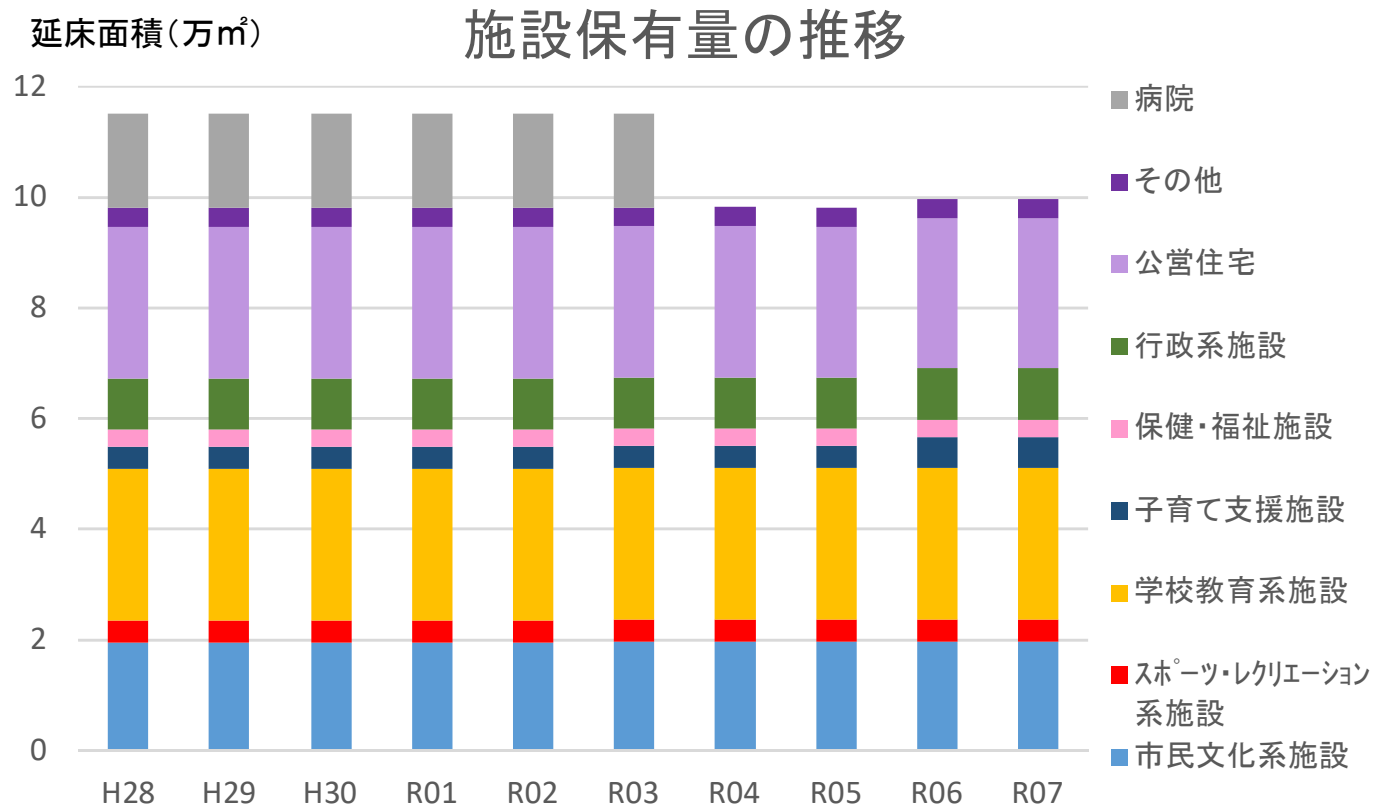
住民と共に策定する  
分かりやすい計画

実現性・実効性の高い  
計画

重点プロジェクト 4. 行財政基盤強化プロジェクト  
 <公共施設等のマネジメントの推進>

# 公共施設等総合管理計画更新事業

R8:2,915千円 [R7:-]



課題: 築年数が相当数経過している建築物が多く、突発的な修繕や改修が頻繁に発生

安全性の低下

維持管理コスト縮減



現状を踏まえた  
計画内容の更新

## 子育て支援の環境整備

R8:411,618千円 [R7: 426,174千円]

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援と一体的なサービスの実施による、「安心して健やかに育つことができるまちづくり」の実現に向け、子育て環境の整備を進めています。

### ☀️ 妊娠・出産に関する支援の充実

### ☀️ 子育て支援に関する設備の充実



#### 不妊治療費補助

子を望む夫婦(事実婚関係等のパートナー含む)に対して不妊治療にかかる費用を助成  
保険診療治療5万円+保険適用外治療15万円  
+先進医療5万円



#### 未来樹

子育て支援にかかわる4つの機能を備えた子育て支援拠点で充実した子育て支援サービスを提供

- ・認定こども園
- ・子育て支援センター
- ・発達支援室、
- ・病後児保育室

#### 妊婦のための支援給付

- ・妊娠届出後 5万円
- ・出産予定日8週間前に子どもの数×5万円



### ☀️ 子育て支援に関する給付の充実

#### 子ども医療費助成

R6年8月～

高校卒業までの通院・入院費助成

#### 児童手当の拡充

R7年4月～

- ・所得制限の撤廃
- ・18歳まで支給
- ・第3子以降の増額(15,000円→30,000円)
- ・支給回数増加(年3回→年6回)

#### 児童扶養手当・特別児童扶養手当

全国消費者物価指数の上昇により  
支給額増加(令和8年4月～)

R8年4月～

#### 産後ケア事業

R8年4月～産院1カ所追加

- ・産院でのショートステイ(1泊3,000円)
- ・産院・事業所でのデイサービス(2時間500円)
- ・保健師と助産師による自宅への訪問相談(無料)  
ママの身体のことや赤ちゃんのお世話の相談
- ・家事支援 ヘルパーによる家事の援助(1回600円)

( )自己負担額

すこやかで安心できる暮らしのために  
 <地域福祉>

【関連計画】  
 地域福祉計画、障がい者基本計画、重層的支援体制整備事業実施計画】

## 大淀町 第10期 介護保険事業計画及び高齢者福祉計画（令和9年度から11年度まで）

### 大淀町の現状と将来予測（推計値）

令和8年度（推計値）		令和22年度（推計値）		令和32年度（推計値）	
人口	15,238 人	人口	10,377 人	人口	7,819 人
高齢者数	5,968 人	高齢者数	5,442 人	高齢者数	4,533 人
高齢化率	39.17 %	高齢化率	52.44 %	高齢化率	57.97 %
被保険者数	5,861 人	被保険者数	5,333 人	被保険者数	4,442 人
認定率	19.14 %	認定率	23.48 %	認定率	24.18 %
要介護認定者数		要介護認定者数		要介護認定者数	
要支援1	182 人	要支援1	199 人	要支援1	166 人
要支援2	129 人	要支援2	141 人	要支援2	121 人
要介護1	216 人	要介護1	239 人	要介護1	204 人
要介護2	196 人	要介護2	220 人	要介護2	188 人
要介護3	167 人	要介護3	188 人	要介護3	163 人
要介護4	155 人	要介護4	177 人	要介護4	155 人
要介護5	77 人	要介護5	88 人	要介護5	77 人
合計	1,122 人	合計	1,252 人	合計	1,074 人

### ■基本理念

豊かな長寿社会の実現

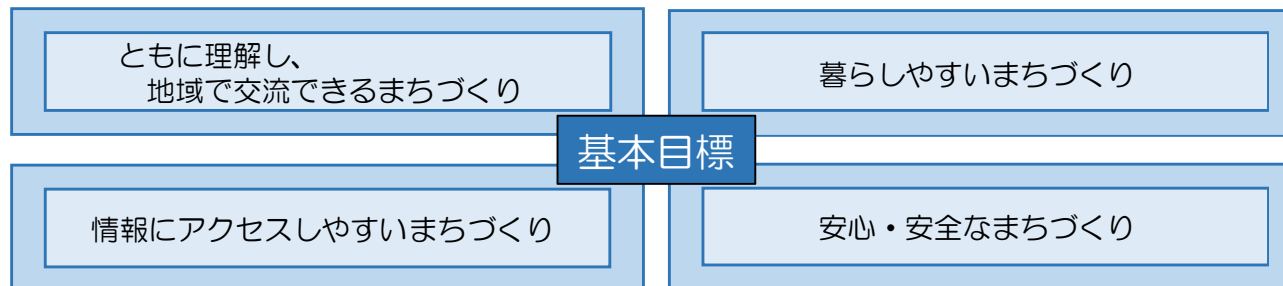
健康で生きがいのある生活の実現

お互いに思いやり、  
 助け合う共生社会の実現

人口減少、さらなる高齢化を見据え、また、医療・介護人材の確保などの諸課題の解決をめざし、高齢者のみなさんが安心して生活できる町、活躍できる町を実現するため、介護保険事業計画及び高齢者福祉計画を策定します。

## 大淀町 第7期 障がい福祉計画・第3期 障がい児福祉計画（令和9年度から11年度まで）

障がいのある人もない人も自分らしく暮らせる社会づくりが積極的すすめられるよう、また、制度の隙間に漏れ落ちない支援の提供及び個々のニーズに基づいた地域生活支援体制の整備の充実をめざす実行計画です。

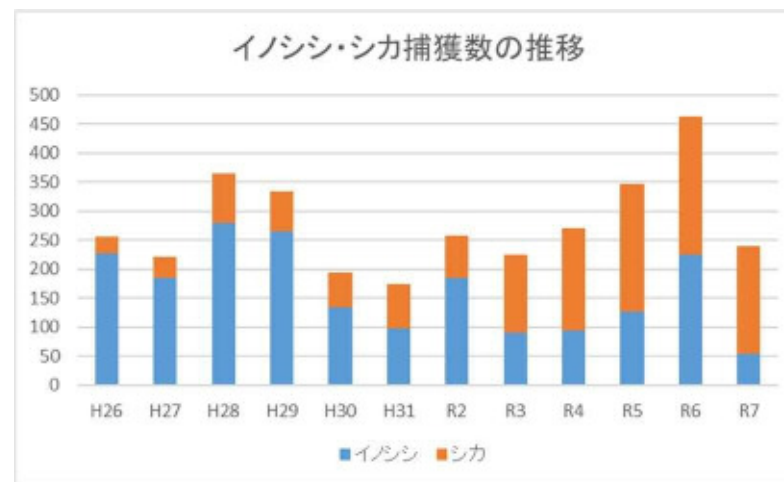
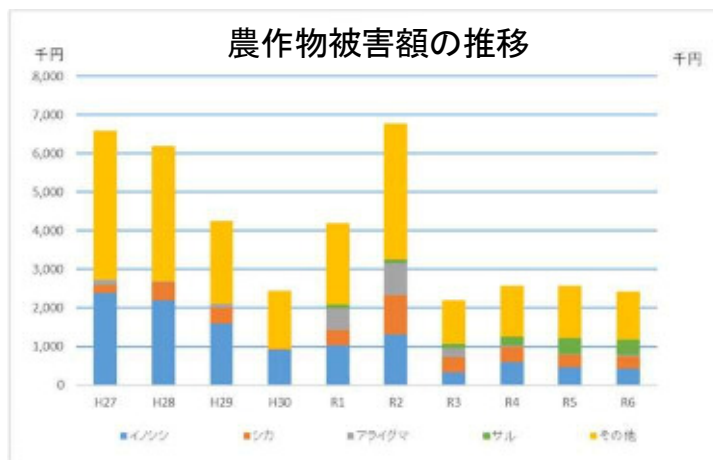


### ■主な取り組み

- 障がいある人への理解の促進
- 障がいある人を地域で支える気運の醸成
- 障がい福祉サービスの充実
- 意思表示やコミュニケーション支援
- 個別避難計画の作成支援などの災害対策

# 有害野生獣被害対策施設設置事業 R8: 13,250千円 [ R7: 8,106千円 ]

有害野生獣(イノシシ、シカ等)による農作物等の被害を軽減するための対策を行います。  
 有害野生獣被害対策は、農家だけの問題ではなく、住居エリアへの侵入など地域住民の生活を脅かしています。  
 地域住民や関係団体等の連携による地域ぐるみで取り組む鳥獣被害対策を支援します。



年度	延長 (m)	施設の種類
R1	3,280	ワイヤーメッシュ
R2	474	ワイヤーメッシュ
R3	10,172	ワイヤーメッシュ+電気柵
R4	11,124	ワイヤーメッシュ+電気柵
R5	3,000	ワイヤーメッシュ+電気柵
R6	3,000	ワイヤーメッシュ+電気柵
R7	要望なし	—



いきいきとして活力あるまちづくりのために

＜商工業・企業誘致・新しい産業＞ ＜食料・農業・農村＞ ＜森林・林業＞＜観光・道の駅＞

【関連:新しい地方経済・生活環境創生交付金実施計画】

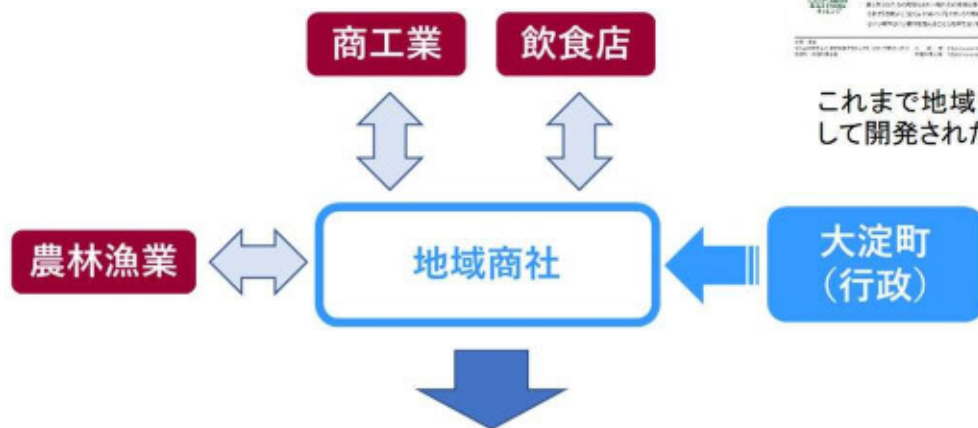
## まちのにぎわいづくりと地域商社設立事業

R8:46,000千円[R7:30,400千円]

町ではこれまで、まちのにぎわいをつくられる住民の皆さんや町内で事業を営む企業の方々のチャレンジを支援してまいりました。今年度からは、将来にわたり、このにぎわいが続いていく仕組みづくりとして、新たに会社の設立に取り組み、まちへの誘客や消費の拡大を目指します。



これまで地域資源を活用して開発された商品



今後、主体的に繋がっていただける多くの関係者とともに、持続的な仕組みで地域全体を活性化していきます

### R8年度の主な事業内容

- ① 地域商社の設立に向け、制度設計を進めます。
- ② これまでと同様に、地域資源を活用して販路拡大を行おうとする事業者を支援し、新たな地域の稼ぐ力づくりを行います。
- ③ 近年、人口減少や高齢化により発生している地域の困りごとを、住民の皆さんが新たな形で解決していく仕組みづくりを支援します。

まちの基盤づくりと安全・快適な暮らしのために  
＜都市拠点の形成－中心市街地の整備＞

◆下市口駅周辺まちづくりプロジェクト

[ 関連:大淀病院跡地及び近鉄下市口駅周辺まちづくり基本構想  
大淀病院跡地活用基本計画(見直し版) ]

# 大淀病院跡地及び近鉄下市口駅周辺まちづくり事業

R8:15,600千円 [ R7:62,050千円 ]

## 基本構想コンセプト

○医療・福祉・健康に関する機能の促進と多世代交流づくり ○地域資源を活かした観光と交流の拠点づくり

## 基本方針

- ・医療・福祉・健康の機能集約
- ・来訪者及び地域住民の交流の場として整備

- ・吉野郡の観光の玄関口としてふさわしい交通機能の確保
- ・駅前での賑わいの創出

- ・空地、空家を活用した地域活性化

- ・河川空間における賑わいづくり

## まちづくり基本構想図(案)



様々な主体  
(地域住民、民間  
事業者、行政等)が参画し、  
まちづくりを進めます。



令和6年11月1日作成資料であり、  
今後地権者等との協議に基づき詳細を決定する

# 定住促進事業

R8：12,269千円 [R7：165千円]

## 現状の課題

認知度の低さ  
まちの魅力が伝えたい  
層に届かず、移住検討  
層に想起されない。

直接支援の少なさ  
経済的負担が壁となり、  
他市町村との比較して  
転入の決め手に欠ける。

情報発信力の弱さ  
各種支援策の情報が埋  
没し、必要としている  
人に届いていない。

## 【関係人口創出】 ハッシュタグキャンペーン事業

▶SNSハッシュタグキャンペーンによる認知拡大

## 【移住支援】 移住支援金事業

▶東京圏等からの移住者への  
直接的経済支援。

## 【移住支援】 結婚新生活支援事業

▶新婚世帯の住居・引越費用補助。

## 【情報発信】 ワンストップサイト構築事業

▶支援策や町の情報を発信するためにリニューアル。



## 空き家対策事業 R8: 15,441千円[R7: 10, 586千円]

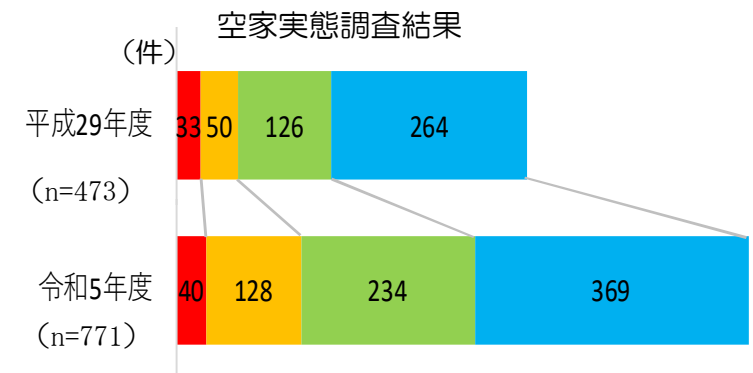
全国的に適切な管理が行われていない空き家が増加し、防災、衛生、景観等地域住民の生活環境に重大な影響を及ぼし、大きな社会問題となっています。

本町では、大淀町空家等対策計画を策定し、次の4つの基本方針のもと空き家対策に取り組んでいます。

- ◆ 「空き家の発生抑制」
- ◆ 「空き家の適正な管理の促進」
- ◆ 「地域特性に応じた空き家等およびその跡地の利活用の促進」
- ◆ 「所有者、行政、地域その他の団体・事業者等の連携・協働」

### これまでの取り組み

- 空家町情報発信媒体における啓発記事掲載
- 空家バンク制度の創設・運営
- 空家相談窓口の設置
- 空家相談会・セミナーの開催
- 老朽危険度空家等除却事業補助制度の創設・拡充



ランク	内容
A	倒壊や飛散等の危険が切迫し、周辺への影響度、緊急性が極めて高い
B	直ちに倒壊や建築資材の飛散等の危険性はないが、維持・管理が行き届いておらず、損傷が激しい
C	維持・管理が行き届いておらず、損傷もみられるが、当面の危険性はない
D	小規模の修繕により、再利用が可能 (※ただし、視認性が悪く評価困難の家屋含む)

まちの基盤づくりと安全・快適な暮らしのために  
 <環境保全と環境美化、景観・緑化－自然等の環境保全と地球温暖化対策>

## 地球温暖化対策（公共施設照明LED化事業） R8:50,202千円[R7:-]

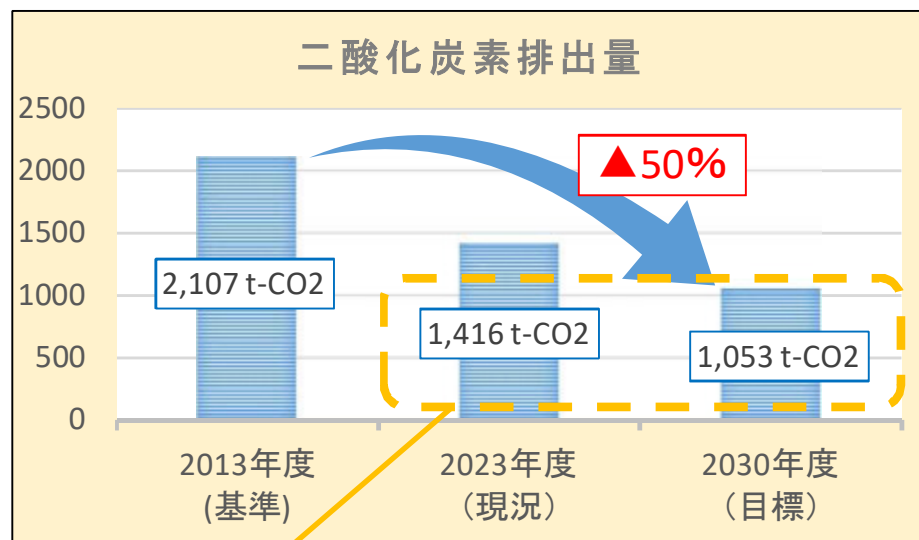
○令和7年3月に大淀町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定し、地球温暖化に対する大淀町役場としての目標や取組をまとめました

○目標 **2030年度までに二酸化炭素の排出量を2013年度比50%削減**

**町有施設のLED照明化** ← 目標達成に向けた取組

### LED照明化による削減効果（年間）

	電気使用量	CO2排出量	電気料金
役場庁舎	162,570 kWh	58 t-CO2	3,821 千円
文化会館	93,409 kWh	34 t-CO2	4,302 千円
小・中学校	151,777 kWh	54 t-CO2	6,153 千円
<b>合計</b>	<b>407,756 kWh</b>	<b>146 t-CO2</b>	<b>14,276 千円</b>



役場庁舎、文化会館、町内小中学校の照明をLEDに更新した場合、CO2排出量として**約146 t-CO2の削減**が見込まれる  
 （2023年度からの**目標削減量363t-CO2の約40%相当**）  
 また、電気料金として**年間約1400万円の削減**が見込まれる

まちの基盤づくりと安全・快適な暮らしのために  
 <廃棄物処理等—ごみ収集・処理体制の充実>

## ごみの減量化と資源リサイクル

○ごみの減量化と資源リサイクルで循環型社会を推進するため、令和5年4月から  
 〓ごみの分別方法を5種10分別に変更。

種類	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ						粗大ごみ	有害ごみ
分別	可燃ごみ	不燃ごみ	カン	ビン	ペットボトル	容器包装プラスチック	古布類	古紙	粗大ごみ	有害ごみ
										

○ごみ排出量の現状と減量化の目標

	現状			目標
	R4年度 (計画策定時)	R7年度 (直近)	比較 (R4年度比)	R15年度
総ごみ排出量	4,953 t	4,203 t	約15%減	3,618 t
1人1日あたり ごみ排出量	823 g/人・日	740 g/人・日	約10%減	724 g/人・日

目標達成に向けた取り組み  
 ・食品ロスの削減  
 ・生ごみの水切り徹底  
 ・紙類の発生抑制  
 ・使い捨て商品の使用抑制  
 など

大淀町 第3期一般廃棄物処理基本計画(令和5年度策定)より

ごみの減量化・リサイクルの推進にご協力をお願いします

## 避難所環境改善事業

R8繰越(R7補正)：17,224千円

大規模災害時における避難所生活の長期化を想定し、清潔で衛生的な環境を整備することにより、避難者の心身の健康を確保するとともに地域防災力の向上を図ります。

①赤ちゃん休憩室	8,580千円
②大型仮設テント	4,550千円
③自動ラップ式トイレ	2,640千円
④かまどベンチ	1,080千円
⑤ドローン	374千円



### 有利な国庫補助を活用して実施します

国の令和7年度補正予算で設けられた、地域未来交付金(地域防災緊急整備型)の対象事業となっており、総事業費17,224千円の2分の1の8,612千円の国庫補助を受けて実施します。

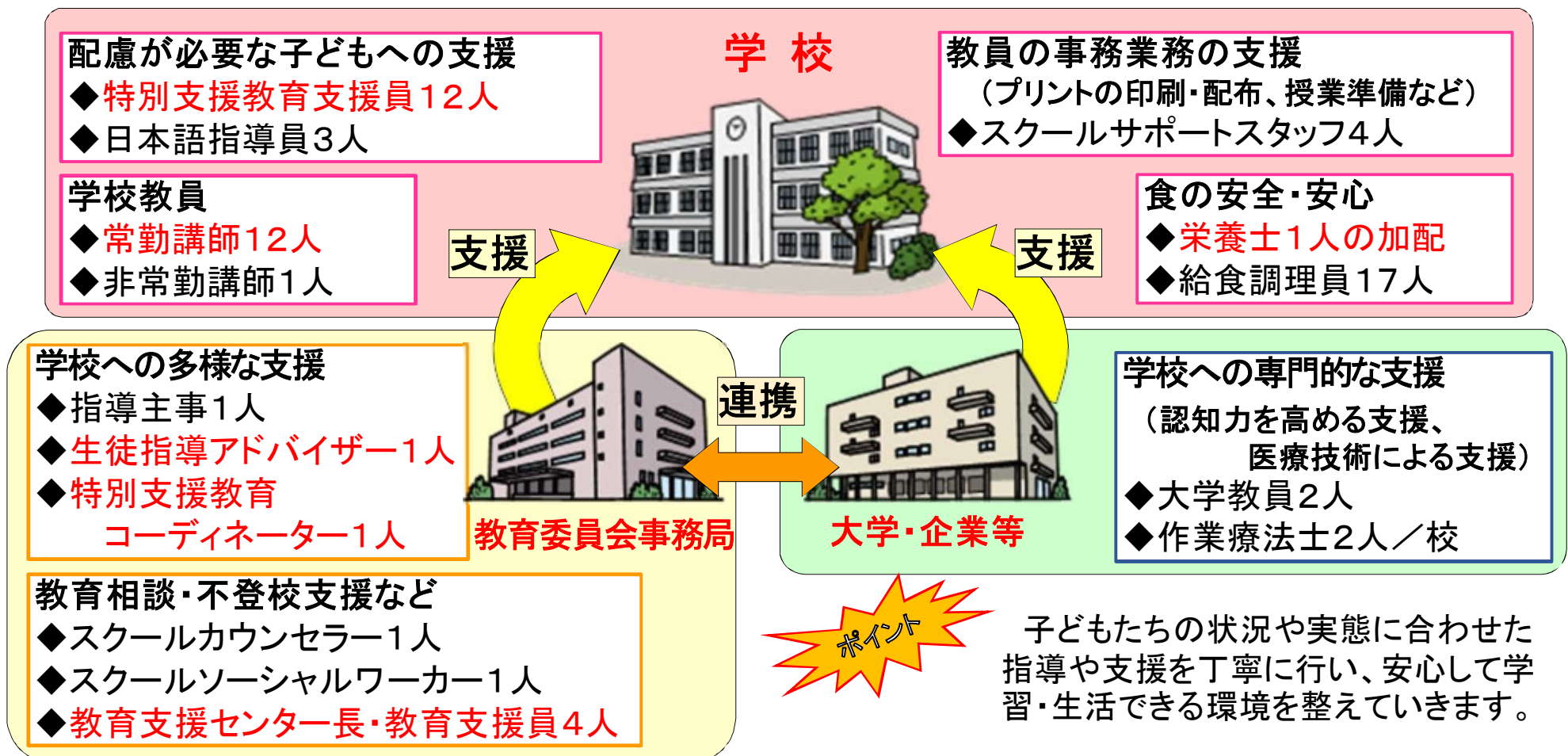
うるおいある人間性豊かなまちづくりのために  
＜学校教育－教育内容の充実＞

## 子どもたちが安心して

## 学習・生活ができる環境づくり

R8:145,701千円 [R7:113,601千円]

学校、教育委員会事務局、関係機関のそれぞれに町独自で人員を配置し、支援体制を整え、子どもたちが安心して学び過ごすことができる教育環境を提供しています。



## 小、中学校給食費の無償化

R8:60,428千円

[R7:58,194千円]

令和8年度より町内小、**中学校給食費の実質無償化**を実現！

小学校	中学校
7年度	
給食費月額4,800円の15%(720円)を補助＋2月分3月分を全額補助しました	給食費月額5,000円の15%(750円)を補助＋2月分3月分を補助しました
8年度	
給食費負担軽減交付金5,200円に加えて大淀町独自の <b>追加支援</b> をすることで <b>実質無償化</b> を行います！	国の交付金はありませんが、小学校と同じく <b>町独自</b> で支援することで <b>実質無償化</b> を行います！

ポイント

保護者の皆様の経済的負担を軽減することで、子育て世代への教育の充実に寄与していきます。

保護者負担「0円」



## ウォーターサーバーの設置

R8:1,714千円

近年、夏季の気温上昇は非常に厳しく、子どもたちの健康維持には「適切な水分補給が不可欠です。児童生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう、手持ちの水筒に冷水が補充できるウォーターサーバーを町内の小中学校に設置します。

ポイント

### 導入によるメリット

健康面	熱中症搬送リスクの低減、体調不良の未然防止。
経済面	保護者の飲料代負担の軽減、水筒の大型化による重量負担の解消。
教育面	休み時間の適切なリフレッシュによる、次時限への集中力持続。
環境面	ペットボトルゴミの削減（SDGsへの貢献）。



## 小中学校の体育館空調設備整備

R8～R11：192,635千円

学校の体育館は、おもに屋内運動場として利用しています。  
児童生徒の健康面（特に夏場の熱中症対策など）への配慮や災害時の避難所対応を  
考慮して、**小中学校の体育館に空調設備を設置**します。  
これにより、快適な環境での授業、行事運営が実現します。



- ・大淀桜ヶ丘小学校
- ・大淀緑ヶ丘小学校
- ・大淀希望ヶ丘小学校
- ・大淀中学校

いずれも、  
5月末までに  
設置完了予定！



うるおいある人間性豊かなまちづくりのために  
＜生涯学習・生涯スポーツ・生涯スポーツの推進＞

## 地域クラブ活動事業

R8:10,330千円[R7:4,853千円]

令和8年度から**休日**の中学校部活動が廃止となり、令和7年4月に教育委員会が運営主体として設立した「**大淀クラブ**」が本格的に活動を開始します。

### 「大淀クラブ」の運営体制

- 種類・・・(運動部) 野球部、サッカー部、陸上部、テニス部、男子バスケットボール部、女子バレーボール部、卓球部、剣道部
- (文化部) 吹奏楽部
- 活動場所・・・大淀中学校
- 活動日・・・休日(土・日・祝日)
- 入会者資格・・・大淀町内在住の中学生及び大淀中学校在校生
- 受益者負担・・・活動保険料(年額800円)、参加負担金(月額1,000円)
- 地域指導者・・・報酬(1時間あたり1,600円)
- 連絡体制・・・部活アプリを導入し、地域指導者と保護者との連絡体制を整備
- その他・・・下市町と連携協定を締結し、下市町在住の中学生を受け入れる



### ポイント

- 将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会の確保につとめます。
- 地域の子どもたちは、地域で育てるという意識のもと、持続可能な環境づくりをめざします。



うるおいある人間性豊かなまちづくりのために  
＜生涯学習・生涯スポーツー生涯スポーツの推進＞

## 健康づくりセンター運営費

R8:32,663千円[R7:11,037千円]

令和7年7月29日から一部再開しておりますが、令和8年度においては、以下の体制に変更し一部営業を継続いたします。

### 令和7年度

(令和7年7月29日～令和8年3月31日)

- 営業日…平日(月曜日～金曜日)
- 時 間…午前10時～午後5時
- 休館日…土曜日・日曜日・祝日



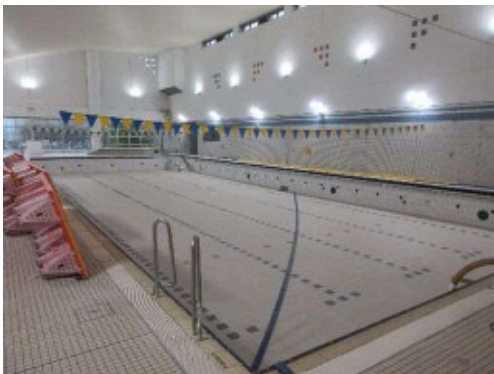
### 令和8年度

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

- 営業日…月、水、木、金、土、日曜日
- 時 間…午前10時～午後5時
- 休館日…火曜日・祝日

### 【1階】

「温水プール」は閉館中



### 【2階】

「トレーニングジム」  
「スタジオ」は営業中



## 今後の予定

令和8年度に設計・建設・運営の事業者を選定し、令和9年度に改修を行う予定です。

その後、令和10年4月1日に全面リニューアルオープンを目指しています。

## 大淀町文化会館の改修 ～これからの30年をめざして～

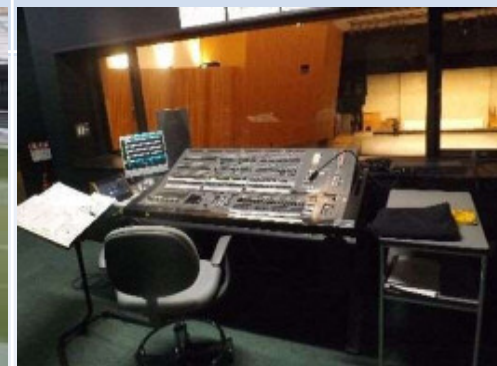
R8:249,001千円[R7:12,540千円]

文化会館は、平成9年4月の開館以来まもなく**30年**を迎えます。

今後も引き続き、町の**文化・芸術・生涯学習の拠点施設**として多くの方々に安全にご利用いただくために、『**大淀町文化・社会教育施設個別施設計画（長寿命化計画）**』に基づき計画的な改修を行っていきます。

### ■改修工事の計画

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10～16年度
大淀町文化・社会教育個別施設計画の策定	①舞台吊物の改修(第2期) ②高圧受電設備の改修 ③駐車場の改修 ④次期工事の設計等 予算額:2億4,900万円	①舞台吊物の改修(第3期) ②ホール、図書館、外部デッキ等の改修 ③次期工事の設計等	①舞台吊物の改修(第4期～) ②トイレ、音響、熱源設備、屋外灯等の改修 ③各種工事の設計等




## 南和広域医療企業団

R8:659,549千円 [R7: 611,063千円]

「南和の医療は南和で守る」との基本理念のもと、2016年4月に南奈良総合医療センター、吉野病院、五條病院、南奈良看護専門学校が発足し、2021年1月には南奈良訪問看護ステーションを併設。専門診療27診療科のほか救急・脳卒中・糖尿病等、10センターの機能を有しています。

### 南和を守る「断らない救急」

2025年4月～2026年3月で南和地域から9,802件の救急患者を受け入れています。

救急車で搬送される患者の「救急応需率」は  
南奈良医療センター開院前 56.3%  91.5%  
【2025年4月～2026年3月】

県内でも  
高水準



### 最新鋭のMRI装置の導入

2025年4月より磁場強度が高い「3テスラ」で、脳や脊椎の微小病変や小さい動脈瘤などの血管、関節、前立腺、乳房、子宮など、全身のより高度な画像検査ができるようになりました。

シンプル  
脳ドック  
助成1万円



南奈良  
に常駐

### ドクターヘリの活用

屋上ヘリポートに常駐しており、片道15分で県内全域をカバー。救急処置を必要とする患者を救急医療に精通した医師・看護師が同乗することで初期治療開始までの時間を大幅に短縮できます。2025年4月～2026年3月で79件の実績（うち9件が大淀町民）



まちの基盤づくりと安全・快適な暮らしのために  
＜消防・防災－防災体制の充実＞

事業主体：奈良県広域消防組合

## 大淀消防署建設事業

奈良県広域消防組合大淀消防署の新庁舎が完成し、令和8年3月27日から業務が開始されました。日々の町民の皆様のご生活を支えていただくとともに、大規模災害時にも防災拠点となる施設が整備され、町民の皆様のご安心安全に大きく貢献すると考えています。

### 大淀消防署の機能強化

- 住民の安全安心を守る消防活動拠点となる庁舎
- 山岳救助及び水難救助の拠点施設として、山岳・水難救助体制の機能強化
- 南部方面隊を併設することによる、現場活動指揮の増強
- 救急車の増車による出場隊数の増強

#### 大淀消防署庁舎

建築面積 872.16㎡  
延床面積 1438.79㎡  
鉄筋コンクリート造  
地上2階建（耐震構造）



## 一般廃棄物処理について

さくら広域負担金 R8:207,020千円[R7:200,362千円]  
南和広域負担金 R8:44,520千円[R7:89,000千円]

### さくら広域環境衛生組合（令和5年10月～）

所在地：大淀町西増地内



さくら美化センター 全景

- 構成：大淀町、下市町、黒滝村、天川村、川上村、東吉野村
- 処理能力：焼却施設 21 t/日  
リサイクル施設 6.7t/5h運転
- 大淀町のごみ処理実績（令和7年度）

可燃ごみ	3,496トン
不燃ごみ	118トン
粗大ごみ	85トン
資源ごみ	253トン

### 南和広域衛生組合



南和広域美化センター 解体工事実施状況

- 令和8年10月 焼却施設除去工事完了予定
- 令和9年3月 組合解散予定

## 桜ヶ丘浄水場整備事業について （奈良県広域水道企業団大淀事務所）

### ■ 桜ヶ丘浄水場の概要（設置：昭和32年） → 老朽化している施設の更新が必要

【共通施設】 浄水池、送水ポンプ、中央監視装置、粉末活性炭注入施設、排水処理施設、受変電設備、薬品注入設備

【1系施設】 沈殿池、ろ過池（H21更新）

【2系施設】 沈殿池、ろ過池（S55～H3建設）

### ■ 桜ヶ丘浄水場整備計画の概要（R7～R16） → 国や県の支援を活用し、施設の耐震化・強じん化を図ります

➢ 桜ヶ丘浄水場の取水・浄水施設の更新、平畑第一配水場中継ポンプ更新等を実施

#### 当初計画（R2年8月時点）【事業費26.3億円】

老朽化している施設を更新するもので、かつ料金上昇抑制を見据えた整備計画を策定



基本設計検討項目 ○人件費・物価の上昇 ○自家発電設備の設置 ○撤去・土留・仮設工事  
○施設の強じん化等に係る更新整備 ○排水処理施設の前倒し

#### 基本設計による計画（R7年3月時点）【事業費約70億円】

桜ヶ丘浄水場は基幹浄水場として存続することから、更新する必要性が最も高いこと。また、水質悪化、施設老朽化が顕著であることからカビ臭対策工事や排水処理施設整備等を10年間の更新対象とするものとし、加えて、能登地震等を教訓に**災害に強い施設計画**とした

桜ヶ丘浄水場から供給する水道水の安心・安全を長期的に確保するために改めて課題を洗い出し、様々な設備投資を設計した結果、総事業費が約70億円となりました。

将来にわたる水道水の安定供給を見据えるとともに、時限措置である補助金等を最大限活用することにより住民負担の軽減に繋がる更新事業を実施します。



整備後イメージパース図